



参加企業がお互いプレゼン

業種を超えての意見交換

モノづくり企業のための販路を見据える商品開発講座

# ANSWER.

第1期 参加企業  
食品、小売、服飾、  
イベント運営、  
伝統工芸  
全8社

ANSWER

— 事業の課題を持つ事業者に解答を導く —

## 目的

- 自社ブランドの立ち上げ
- 新商品を開発
- 販路展開するための手法を学ぶ

## 内容

- 徹底した自社の現状分析・他社分析
- 商品企画
- コンcept作成
- 具体的な販売戦略

## 講師

金谷 勉氏

有限会社  
セメントプロデュースデザイン

- Webデザイン、プロモーション
- 商品開発
- 新規事業プロデュース

京都精華大学客員教授  
金沢美術工芸大学講師

## 京信の本業支援は 次のステップへ

当金庫は企業のお悩みに寄り添い、財務面に留まらない本業支援を行っています。その中で「事業の新たな展開をお考えの事業者様に解答を導く取組をしたい」、「事業者様と地域、京信を結ぶ場を作り出したい」という想いのもと、商品開発講座『ANSWER』を立ち上げました。

この取組を通じて、事業者様と当金庫営業担当者がものづくりと販売のノウハウをともに学び実践することで、新規事業で確かな売上を創出すること、コストコントロールも踏まえた計画で利益を生み出すことを目指します！

参加事業者様へインタビュー

# ANSWER参加によって 見出した強みと新たな道

## 株式会社 金箔押山村

昭和24年創業。京仏具・京仏壇の金箔押業を営む。  
全国各地の寺社仏閣及び文化財の修復などを手掛ける。



Instagram  
@kinpakuoshi\_yamamura

## 伝統工芸は時代の変化にどう対応するのか

近年の生活様式の変化により、請負仕事である仏具への箔押し業だけでは先細りになると感じ、これまで革小物に金箔を施した商品や、デザイナーとコラボしたアクセサリなどを開発してきました。しかし外注費や在庫数など課題が多く、**自社完結できる商品を開発したい**と考えていました。そんなとき、この講座を知り、参加を決意しました。

【お話をいただいた方】  
統括マネージャー  
中澤 未来様

## ANSWERはひとりじゃない

京信の営業担当の山本さんは全8回の講座だけでなく、合間に工場にも出向き、弊社の課題を深く理解してくれ、お金のこと以外にこんなサポートをしてくれるのかと驚きました。

さらに講座では、自社や競合他社の分析、コンセプト設計等を専門的な知見をもとに行いました。**産学連携**で京都精華大学の学生さんも参加。自社だけでは思いつかない新商品のアイデア出しやパッケージデザインをサポートしてくれました。**講師の金谷さんや学生さん、山本さんのおかげで一人ではないという安心感**がありました。



京都信用金庫  
営業担当  
山本 泰史

工場見学が  
新商品アイデアのきっかけに!



## 導き出した答えは、想いと課題にこたえるモノ

受講を重ね、形を問わず何にでも金箔を押せる**職人技の強みを再認識**した私たちは、仏具からステーションナリーに市場を展開しました。

新商品として、葉に金箔を施した葉(しおり)を開発し、**自社の技術を見せたいという想いと課題であったコスト軽減の二つを実現**。

今年の1月には、パリで開催された**世界のモノづくり企業が参加する「Maison&Objet PARIS 2023」に出展**。想像以上に反響をいただき自信にもなりました。ANSWERに参加したことで自社だけでは導くことができなかった解答にたどり着くことができ、参加してよかったと思っています。



精密な技術がきらりと光る。  
葉の葉脈に金箔が施された葉。

京都精華大学の学生が  
パッケージをデザイン

## ANSWERを振り返って



企画者 京都信用金庫  
早川 兼人

営業活動の中で「取引先企業の売上に役立っているのだろうか」という問いが自分の中でありました。そこで、商品開発をして売るまでのノウハウが事業者と京信にとっても必要だと思い、本講座を企画しました。**新規事業の立ち上げや、現状打破を目指す事業者様には是非ご参加いただきたいです。**  
一緒に新規事業、新商品を作りましょう!!

第2期『ANSWER』  
4/20-9/21 開催予定



詳細はこちら

京都信用金庫で  
トータルサポート


## 人材紹介 ※ 補助金サポート

### 「新しい事業に挑戦したい」という想いを聞いて

当金庫七条支店の津田は「西村福郎商店」の西村様を訪問した際に、同社で新しい事業を展開したいとお話を伺いました。これまで津田は、新規取引先や販売場所を探すなど情報提供を重ねており、今回新たに「京信人材バンク」をご紹介します。



西村様は、自らの人脈では出会うことのない人材の力を借りることができれば、以前より漠然と考えていた「海外向けオンラインサイトの運用」と「クラフト教室」が実現できるのでは?と考えられました。



西村福郎商店様

縫製資材の卸売業  
工業用・家庭用ミシン糸、  
和裁洋裁材料、手芸用品などの卸・販売

### 人材紹介ではじまる新しい事業

その後、適材となる人材3名と出会い、新事業がスタート。**複業人材**※は、同社商品の魅力をアピールすることを目的とし市場分析を行い、**欧米を市場としたサイトを立ち上げ**、商品選定や宣材写真の撮影、システムや運営のノウハウ等についてもサポート。**手芸教室**においてはコロナ禍につきオンラインでの実施方法のレクチャーや**チラシ作成**等も行いました。

この勢いに乗り、西村様は倉庫リニューアルも計画。津田は資金援助の必要性を検討し、事業再構築補助金申請の複雑な手続きを一緒に行いました。

また当金庫の河原町ビルQUESTIONについて紹介し、今後の手芸教室の会場としてQUESTIONの活用を検討されています。

※本業や複数の仕事を持ちながら、自分の持つスキル・ノウハウを活かして事業者の課題解決をスポットで行う社外のパートナー人材のこと。



### interview

西村福郎商店 西村 貴志様 香代子様  
津田さんのおかげです

津田さんはビジネスマッチングなどを通じ、これまでも色々な提案をしてくれました。今後も京信さんのサポートやネットワークを活用してもらい、今回始めた新たな事業をさらに強化させていければと思います。

複業人材 米田 広実様  
京信を通して地域の企業に貢献

今回、同社に対し市場分析・事業方針の設定・越境EC販売の実装をサポートさせていただきました。これまでのキャリアを活かしご意向を実現できたのではないかと思います。今後も京信さんを通し、地域企業に貢献していきます。

京都信用金庫 七条支店 津田 祐妃  
これからもサポートします

「忙しいけど毎日楽しくなったよ、ありがとう。」と新事業を楽しみながら運営される西村様のお姿を拝見し、嬉しく思いました。今後もお客様の事業の可能性を広げる提案を継続しながら寄り添っていきたいと思います。

京都の老舗和紙加工メーカーである株式会社コードの  
 神門社長から「**伝統産業である和紙の良さを若い世代にも  
 知ってもらいたい!**そのために若い人のアイデアを取り入れ  
 られないかなあ…?」という一言を聞いた営業担当者の中村  
 は、何かお手伝いできることはないかと考えました。早速、  
 支店へ持ち帰り自身が中心となって、プロジェクトを立ち上げ  
 話し合うと、**芸術系の大学とコラボ**できないかという案が  
 まとまり、すぐさま当金庫本部と連帯し、京都市立芸術大学様  
 をご紹介するという連携が取れました。



【QUESTION 梅小路で行われた授賞式・贈呈式の様子】

『学生を対象に御朱印帳デザインを募集し優秀作品を  
 商品化する』このプロジェクトは、同社の社員さんだけ  
 ではなく金庫職員も投票し、優秀作品を決定するという  
 おせっかいバンカーの真骨頂! 社内アンケートで決定  
 した優秀作品3点をデザインした学生さんにはご自身が  
 デザインされた御朱印帳をプレゼントしました。

社内アンケートで  
 決定した優秀作品!



当金庫は音楽など文化面でも地域を活性化しています。

2022年12月17日(土)

**第3回下鴨音楽祭**が開催されました。

下鴨支店で下鴨音楽祭が開催されました。このイベント  
 はアマチュアからプロの演奏者の方まで誰もがステージ  
 に立つことができることで人気を博し、ジャンルも  
 ジャズ・クラシック・ボサノバ・カントリーと幅広いため、  
 応募者は昨年を大きく上回り70組を超えました。来場者  
 の年代は幅広く、地域の方々も開催を楽しみにされて  
 います。

早くも今年の開催は11月に予定されており、継続開催  
 することで**地域を活性化**してまいります。

音楽好きの職員が集まる  
 「京信わかばオーケストラ」  
 のメンバーも出演しました!



2023年1月9日(月・祝)

**第30回京信ニューイヤーコンサート**  
 が開催されました。

京都コンサートホールで今回30回目となるお正月恒例の「京信  
 ニューイヤーコンサート」が開催され、約1,700名が来場しました。  
 広上淳一さん指揮による京都市交響楽団が奏でる演目はNHK大河  
 ドラマのメインテーマの数々が中心で、来場者は聴き覚えのある  
 旋律に名場面を思い起こされ、**新春のひととき**を過ごされました。  
 今年3月には文化庁の移転を控えている京都。地域の人々が週末  
 にコンサートホールに集い、素晴らしい演奏を聴けることが「**京都  
 らしさ**」であり、当金庫はこれからも本イベントの開催を続けていく  
 予定です。



Cスクエアバックナンバーはこちらからお読みいただけます！  
[Click!](#)